

からだ・こころ・未来をうるおす。

Corporate Profile

 シャビンフーズ株式会社

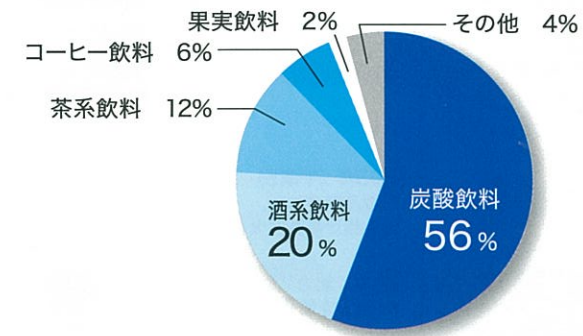
本社工場案内

私たちジャパンフーズの本社工場は1976年に発足して以来、ひたすら品質並びに技術力の向上に努め、現在では首都圏を代表する清涼飲料の有力加工工場として高い評価を得ています。

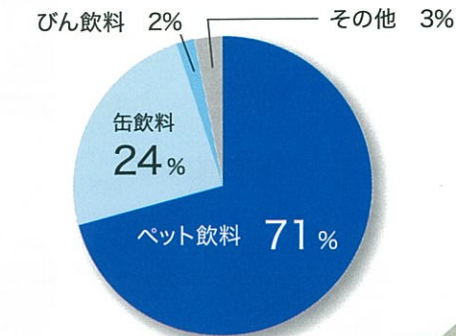
これからも炭酸飲料をはじめ、果汁飲料・茶系飲料・スポーツ飲料・低アルコール飲料など、常に安心・安全な製品を製造し、お客様のニーズに細かくお応えしてまいります。

製品内訳 (2023年3月31日現在)

中身別構成比 (ケースベース)



容器別構成比 (ケースベース)

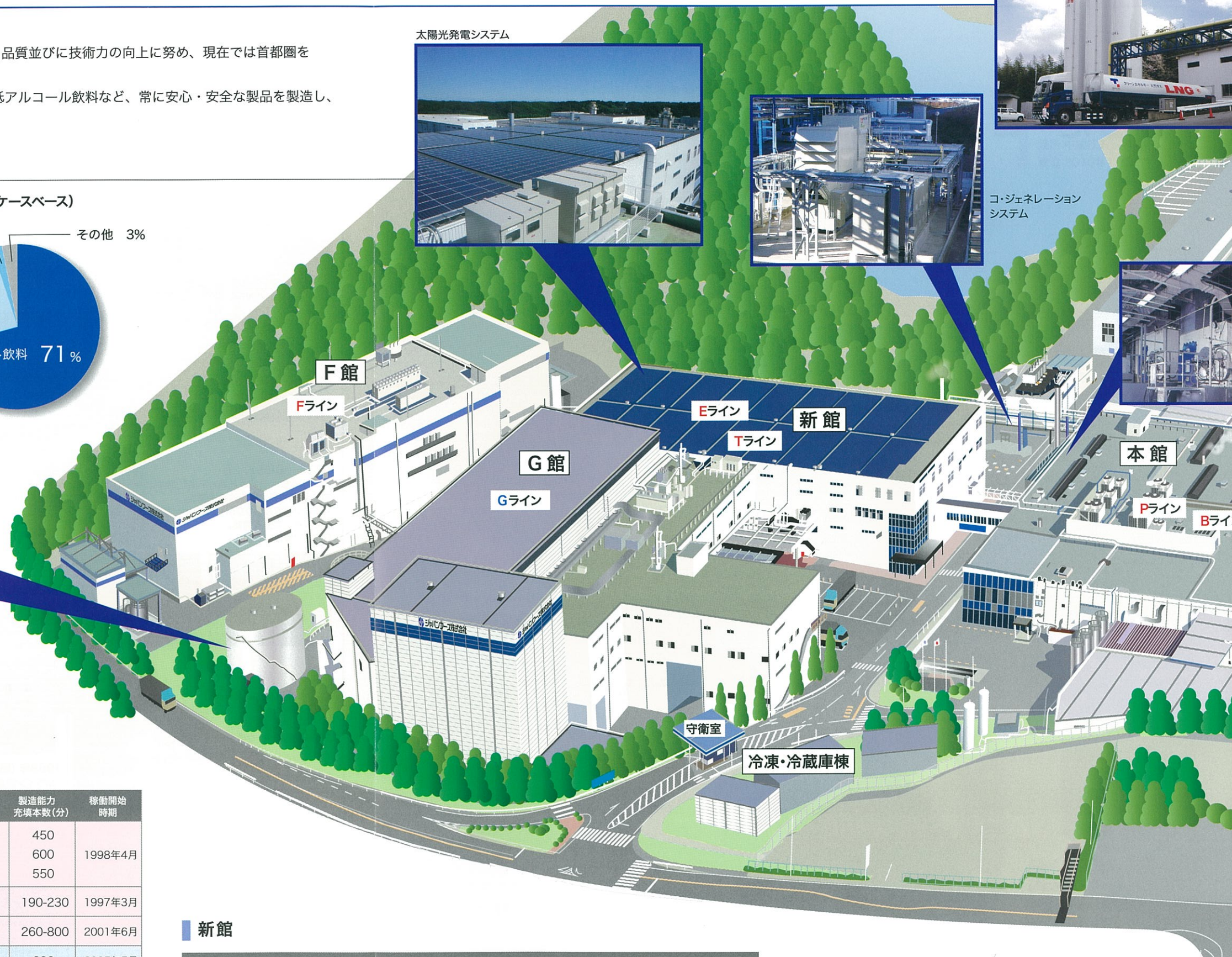


放流水タンク

太陽光発電システム



コ・ジェネレーションシステム



本館

ライン名	特長	製造容器・容量	製造品種	製造能力 充填本数(分)	稼働開始 時期
Bライン	マルチライン	小型PET 270ml - 500ml ボトル缶 275ml - 500ml びん飲料 140ml - 360ml	●●●●	450 600 550	1998年4月
Pライン	大型ペットボトルライン	大型PET 1L - 2L	●●●●	190-230	1997年3月
Sライン	マルチライン	小型PET 280ml - 大型PET1.5L	●●●●	260-800	2001年6月
Oライン	ボトル缶ライン	285ml - 390ml	●●●●	600	2005年5月

新館

ライン名	特長	製造容器・容量	製造品種	製造能力 充填本数(分)	稼働開始 時期
Tライン	ボトル成型 無菌充填 大型ペットボトルライン	大型PET1L-2L	●●●●	250-400	2003年7月 2014年3月 リバイタライズ
Eライン	ボトル成型 無菌充填 小型ペットボトルライン	小型PET280ml - 500ml	●●●●	150-800	2012年7月

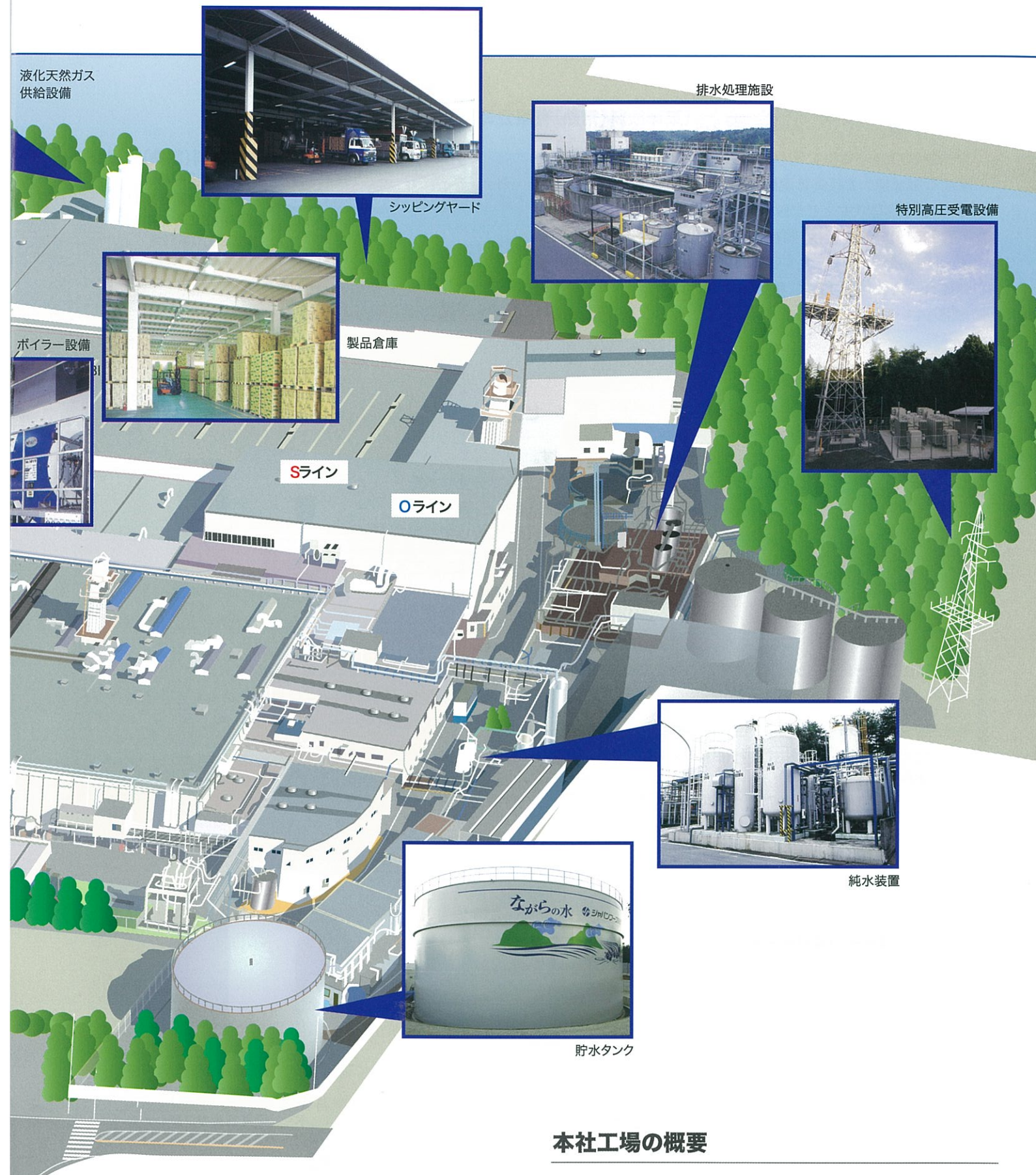
G館

ライン名	特長	製造容器・容量	製造品種
Gライン	缶ライン	160ml - 500ml	●●●●

F館

ライン名	特長	製造容器・容量	製造品種	製造能力 充填本数(分)	稼働開始 時期
Fライン	ボトル成型 小型ペットボトルライン	小型PET 300ml - 500ml	●●●●	600	2017年12月

製造品種：●炭酸 ●果汁 ●茶 ●コーヒー ●酒類



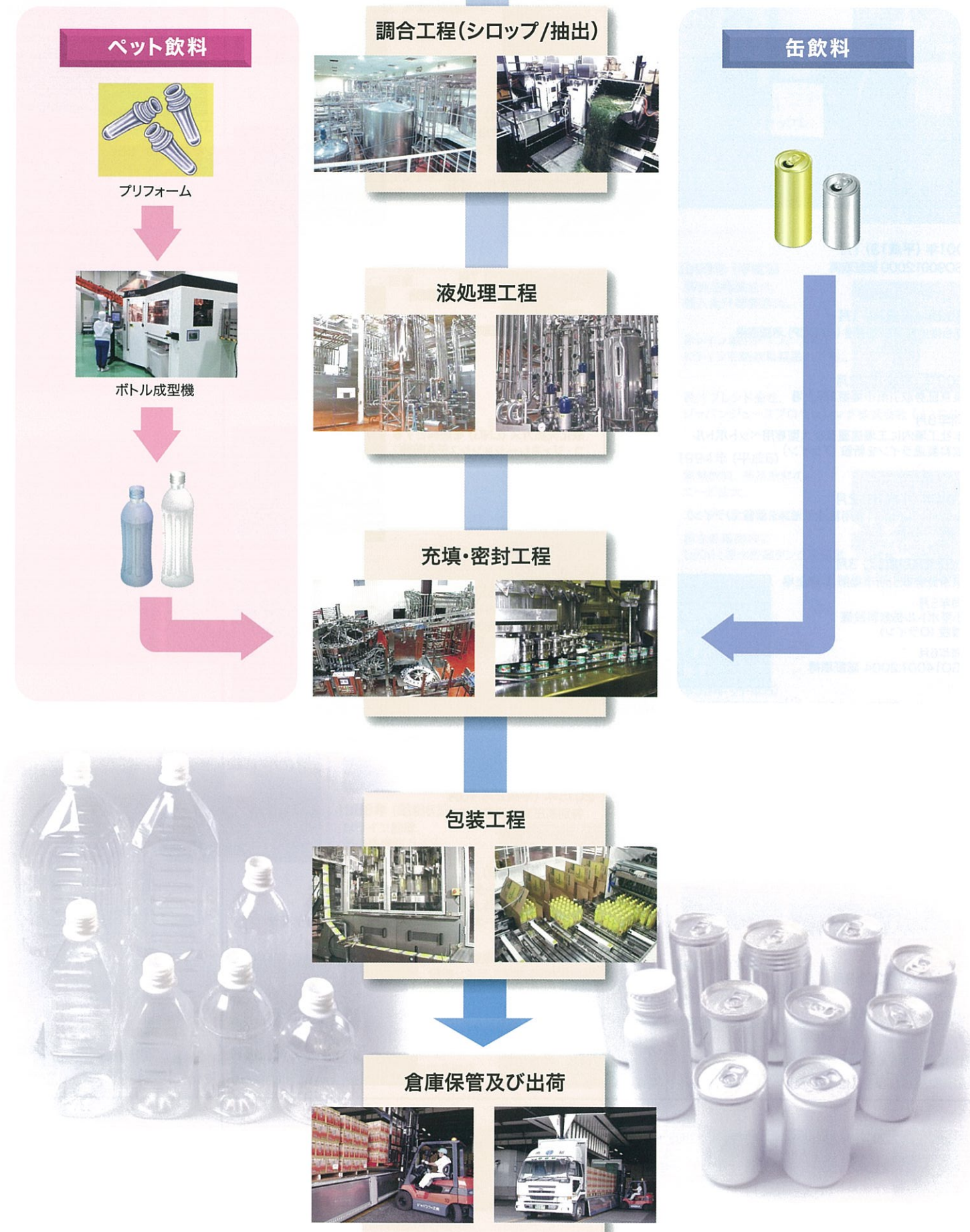
本社工場の概要

事業内容 清涼飲料、酒類飲料、その他各種飲料の受託製造および販売
 操業開始 1977年2月
 品質保証 ISO9001(2001年認証取得)
 ISO14001(2005年認証取得)
 FSSC22000(2013年認証取得)
 敷地面積 123,120平方メートル(37,244坪)
 建物(事務所・工場・倉庫・その他) 77,942平方メートル(23,578坪)

製造能力 充填本数(分)	稼働開始 時期
340-1,200	2021年1月

ペット飲料・缶飲料ができるまで

市水(地下水) → 受水槽 ← 井水(地下水)



1970

1974年(昭和49)4月
日本飲料株式会社千葉工場設立。
Aライン回収瓶200ml、
Cライン缶250mlの2ライン、
1分間に1,200本、東洋一の工場

1976年(昭和51)12月
製販分離
販売をベブシコーラジャパン
製造を伊藤忠商事として、
ジャパンフーズ株式会社設立



1977年(昭和52)2月
日本飲料株式会社の社員と千葉工場の
製造設備を受け継ぎ操業を開始。
Aライン回収瓶200ml、Cライン缶250ml
の2ラインで生産開始。
Bライン設置



1979年(昭和54)
Dライン設置。
缶コーヒー製造可能に、
150KL重油タンク設置



1980

1980年(昭和55)
焼酎ブーム、ハイサワーの生産開始。
冷夏

1981年(昭和56)
日本初のワンウェイ
ボトル瓶、ドリンク瓶の
生産開始(B)



1982年(昭和57)
つぶつぶ飲料、大ヒット。
Hライン設置、
アルミスタンディング
パウチ製造



1984年(昭和59)
Jライン設置



1985年(昭和60)
日航ジャンボ機墜落事故、初代名池社長逝去

1986年(昭和61)
Kライン設置、
エアカットボトル・
スプレー式飲料製造



1987年(昭和62)
1.5Lペットライン設置。
酒類免許取得。
千葉県産ピーナッツを使用したリキュール、
マニ・ローサを開発



1988年(昭和63)
Mライン設置、
缶の多機能ライン



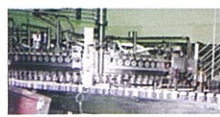
1989年(平成元)
長柄ダム完成。
Nライン設置、
エアカット食品の
新工場棟を竣工。
エアカットボトル・
スプレー式飲料増産対応



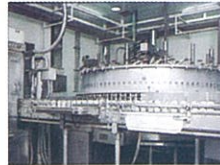
1990

1990年(平成2)
Cラインを350g缶専用ラインへ改造

1991年(平成3)
カルピスウォーター大ヒット。
社員駐車場拡大、
テニスコート及び
ゴルフ練習場設置による
厚生施設の充実



1992年(平成4)
Dラインをスクラップし、
Oラインを設置



1993年(平成5)
瓶製品需要拡大、
輸入果汁需要拡大。

Bライン能力アップ。
Kラインを瓶飲料製造へ改造。



果汁ブレンド会社、
ジャパンジュースプロセッシング株式会社(JJPC)設立

1994年(平成6)
無糖飲料、茶系飲料の
ニーズ拡大。

ニーダー抽出器2基設置。
排水処理施設に
1,500t原水貯蔵タンクを増設



1995年(平成7)
500ml缶の製造開始

1996年(平成8)
構内道路拡張及びトラックヤードの新設。
新倉庫建設。

排水処理施設に沈殿槽を増設。
Kライン、Pラインを改造し、
500mlペット飲料を製造開始。

カート缶の登場。
旧Hライン後にEラインと
して、カート缶ラインを新設。酒類製造開始



1997年(平成9)
1.5L及び2Lペットライン(Pライン)改造、
500mlペットライン(Aライン)新設



2000

2000年(平成12)8月
株式公開(店頭登録)公開に伴い60万株を増資し、
発行済株式総数510万株、資本金6.28億円となる



2001年(平成13)7月
ISO9001:2000 認証取得

2002年(平成14)1月
総合衛生管理製造過程(HACCP) 承認取得

2003年(平成15)2月
東京証券取引所市場第2部上場
同年6月
本社工場内に工場建屋及び大型専用ペットボトル
飲料製造ラインを新設(Tライン)

2004年(平成16)2月
小型ボトル缶飲料専用製造ラインを新設(Jライン)

2005年(平成17)3月
東京証券取引所市場第1部上場

同年5月
小型ボトル缶飲料設備
増設(Oライン)
同年6月
ISO14001:2004 認証取得



2006年(平成18)3月
蒸気ボイラーの燃料を、
化石燃料(重油)から、
液化天然ガス(LNG)に転換



2007年(平成19)8月
東京丸の内へ東京事務所開設

2008年(平成20)3月
ジャパンジュースプロセッシング株式会社のBIB
(Bag in Box) 事業を譲受

2009年(平成21)3月
株式会社ウォーターネットへ資本参加

2002～2005
土岐 仗

2005～2015
本所良太

2010

2010年(平成22)4月
ボトルドウォーター製造ラインを新設(Wライン)
同年12月
東洋製罐株式会社と合併で、
中国常熟市に
東洋飲料(常熟)有限公司を設立



2012年(平成24)7月
ボトル成型・無菌充填(炭酸・非炭酸)
ラインを新設(Eライン)
同年7月
東京事務所を京橋へ移転



2013年(平成25)7月
太陽光発電システムによる売電開始
同年12月
FSSC22000 認証取得



同年12月
液化天然ガス(LNG)を燃料とする
コ・ジェネレーションシステム新設



2014年(平成26)3月
Tラインリバイタライズ
(ボトル成型・無菌充填
(炭酸・非炭酸) 設備増設)



2015年(平成27)10月
特別高圧受電設備を導入

2017年(平成29)4月
水宅配及びウォーターサーバーメンテナンス事業を
連結子会社であるJFウォーターサービス株式会社
(旧ジャパンジュースプロセッシング株式会社)に事業移管
同年12月
本社工場内に工場建屋及び
小型ペットボトルライン新設
(Fライン)



2015～
細井富夫

歴代社長
1976～1982
名池和男



1982～1993
西村糾光



1993～2002
田尾孝行



2002～2005
土岐 仗



2005～2015
本所良太



2015～
細井富夫



2020

2021年(令和3)1月
本社工場内に工場建屋及び
SOT缶ライン新設(Gライン)



2022年(令和4)4月
東京証券取引所スタンダード市場へ移行

注力事業分野

海外飲料受託製造事業(東洋飲料(常熟)有限公司)

東洋飲料(常熟)有限公司(中国江蘇省常熟市)の高度な製造能力と品質管理能力は海外でも高く評価され、中国国内にとどまらず広く海外にも広がりを見せています。当社は、同社の発展を引き続きサポートするとともに、拡大する東南アジアの飲料市場のニーズに対応すべく、積極的に海外への展開を図っていきます。



東洋飲料(常熟)有限公司
(出資比率:24.9%
持分法適用関連会社)
場所:中国江蘇省常熟市
設立:2010年12月

水宅配事業(ウォーターネット・JF ウォーターサービス)

ウォーターサーバー・ボトルドウォーターの宅配を行っています。飲料水のデリバリーサービスの広がりの中で、ジャパンフーズは安心して安全な水を皆様のご家庭、会社にお届けしています。地球温暖化やゴミ処理問題など、環境問題は地球上に暮らすすべての人たちが真剣に取り組んでいかなければならないテーマです。ウォーターネットでは環境に配慮したリターナルボトルを採用。資源のムダな消費を防ぎ、家庭やオフィスのゴミを減らす「ボトル回収型ウォーターサーバー」として、地球環境に貢献します。



- ▶ 重いペットボトルを家まで運ばずに済む
- ▶ リターナルボトルのため、ゴミが出ずエコに繋がる
- ▶ 24時間いつでも「冷水」「お湯」が出る
- ▶ 災害時の備蓄水に
- ▶ 「ボトル回収型ウォーターサーバー」として地球環境に貢献

株式会社ウォーターネット(出資比率:34% 持分法適用関連会社)

資本金 3億4千万円
設立: 2006年3月31日
事業内容: ボトルドウォーターの製造・宅配・販売事業、ウォーターサーバー事業

JF ウォーターサービス株式会社(出資比率:100% 連結子会社)

設立: 2017年4月1日
事業内容: 水宅配及びウォーターサーバーメンテナンス事業

自社商品開発・販売(商品開発部)

当社は、千葉県産の原材料を使用した商品や千葉県をイメージした商品作りに励んでいます。

自社商品の「房総の美味しい水」「千葉の美味しいお茶」「おいしい房総サイダー」は、千葉県内にて好評発売中です。

また、長柄町と千葉大学との「産官学連携」として、町で活動する同大学の学生らがアイデアを出し合い、当社を含めた町内3事業者と「ながらとガラナ いろはにほへと」を共同開発しました。



房総の美味しい水

房総でくみ上げた水を国産にがりにて硬度約20mg/Lに調整し、より飲みやすく仕上げています。



千葉の美味しいお茶

千葉の水(純水)と千葉の茶葉「やぶきた」と「おくみどり」をブレンドし、後味にお茶の甘みがかすかに残る味わいに仕上げています。



おいしい房総サイダー
びわ風味・梨風味

千葉名産の「びわ」と「梨」をイメージしたおいしい炭酸水です。

ながらとガラナ いろはにほへと

人口減少に直面する千葉県長柄町をPRする目的として、千葉大学の学生が企画、開発、デザインを行った商品で、スッキリとした喉ごしとガラナ特有の風味を特徴とした炭酸飲料です。



〒297-0235 千葉県長生郡長柄町皿木203番地1
TEL.0475-35-2211(代表) FAX.0475-35-2216(代表)